



Web ページ番号

4449



## レトロウイルス濃縮試薬

## Retro-Concentrin

無料サンプル品あります

レトロウイルスヘダメージを与えるような超遠心や複雑な手順を行わずに、低速度の遠心を用いたシンプルな操作で、培養液から直接ペレット化できます。

## 特長

- 毒性がなく、本製品により濃縮したウイルスを導入した細胞は標準的な形態を示します。
- iPS 細胞作製のための高力価ウイルスの調製にも最適です。
- 低速度 (1,500×g) の遠心分離で濃縮できます。
- 凍結保存したウイルスの安定化にも適しています。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
Virus Precipitation Solution, 5×, Retro-Concentrin	SBI	RV100A-1	100 ml / 62,000



Web ページ番号

63833



## 組換え体アデノ随伴ウイルス濃縮試薬

## AAVanced Concentration Reagent

rAAV (組換え体アデノ随伴ウイルス) 粒子を濃縮できる試薬です。

## 特長

- ウイルス産生細胞の培養上清を回収し、遠心 (1,500×g) するだけで rAAV を濃縮できます。
- 従来の rAAV 粒子の濃縮方法とは異なり、細胞の溶解および CsCl 密度勾配超遠心、クロマトグラフィーまたはアフィニティマトリックスカラムへの結合などは不要です。
- ウイルスを感染させる細胞に対して毒性はありません。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
AAVanced Concentration Reagent	SBI	AAV100A-1	100 ml / 84,000
	SBI	AAV110A-1	250 ml / 167,000

## SARTORIUS

Web ページ番号

6787



## アデノウイルスの精製・濃縮キット

## Vivapure AdenoPACK

独自の膜吸着技術により、アデノウイルス (Ad5) を HEK293 などのパッケージング細胞から迅速かつ簡便に精製・濃縮するキットです。

## 特長

- 試料溶液の澄清化用フィルター、各種バッファー類、濃縮用透析スピナラム (VIVASPIN)、チューブ類がセットになっています。
- エンドトキシンレベルは 0.025 EU/ml 以下に抑えられます。

- ※ ウイルス感染細胞の培養は DMEM/10% FBS を使用し、pH 7.0~7.4、37°C、5% CO<sub>2</sub> の条件下で行って下さい。
- ※ 50 ml 遠心管用スイングバスケットローターを装備した遠心分離機が必要です。

[メーカー: VIV]

品名	Vivapure AdenoPACK				CsCl による従来法
	20		100		
最大試料容量	20 ml×6 回		60 ml×2 回	200 ml	500 ml
所要時間	1 時間		1~2 時間	2 時間	24~48 時間
回収率	65~70%		65%	80%	60~70%
得られるウイルス粒子数	1×10 <sup>11</sup> ~1×10 <sup>12</sup> (試料 20 ml 当たり)		1~3×10 <sup>12</sup> (試料 60 ml 当たり)	1×10 <sup>13</sup>	1×10 <sup>11</sup> ~5×10 <sup>12</sup>
仕様	遠心スピナラム型		シリンジ・ペリスタポンプ対応型		—
キット内容	Benzonase 120 µl 付属	Benzonase なし	Benzonase 200 µl 付属	Benzonase なし	—
商品コード	VS-AVPQ020	VS-AVPQ022	VS-AVPQ101	VS-AVPQ102	—
包装/価格 (¥)	1 kit / 37,500		1 kit / 34,600	1 kit / 67,000	1 kit / 60,200

